

Citation: Esposito M, Coulthard P, Oliver R, Thomsen P, Worthington HV. Antibiotics to prevent complications following dental implant treatment. *Cochrane Database of Systematic Reviews 2008*, Issue 3. Art. No.: CD004152. DOI: 10.1002/14651858.CD004152
CRG名: Oral Health

[最新版\(英語版\)はこちら](#)

英語版最終改訂年月: 1 May 2008

Clib issue No.; N/U: 2008 issue 3; Update

背景: インプラント体埋入の際の細菌感染により、口腔インプラント治療が失敗することがある。生体材料周囲の感染は治療が難しく、感染したインプラント体のほとんどは除去される必要がある。一般に、抗菌薬の予防投与は、細菌性心内膜炎のリスクのある患者、宿主応答の減少した患者、手術部位に感染がみられる場合、外科的侵襲が広範囲で長時間にわたる症例、大きな異物となる材料が埋入される場合にのみ行うとされる。インプラント体埋入後の感染を最小限にするために、様々な全身的抗菌薬予防投与のレジメンが推奨されてきた。最近の protocols では、抗菌薬を投与する必要がある場合は、短期間の投与を勧めている。抗菌薬を投与すると、下痢のようなものから、生死に関わるようなアレルギー反応まで様々な有害事象が起こる可能性がある。抗菌薬が広く使用されることに関するもう一つの大きな懸念は、抗菌薬抵抗性細菌の出現である。口腔インプラント治療における抗菌薬の予防投与は意見が分かれるところである。

目的: インプラント体埋入時に抗菌薬を予防投与した場合と、予防投与なし、またはプラセボを投与した場合とを比較してどちらが有益か、または有害かを評価すること。そして抗菌薬の投与が有益ならば、どのようなタイプの抗菌薬を、どれくらいの量で、どれくらいの期間投与するのが最も有効なのかを知ること。

検索戦略: 本レビューでは、Cochrane Oral Health Group's Trials Register, Cochrane Central Register of Controlled Trials(CENTRAL), MEDLINE, EMBASEを検索した。最新の検索は2008年1月9日に行われた。さらにいくつかの歯科雑誌をハンドサーチし、使用言語にかかわらず採用した。

選択基準: インプラント体埋入手術を受けた患者に様々な抗菌薬予防投与を行った場合と、抗菌薬を投与しないか、またはプラセボを投与した場合を比較したランダム化比較試験で、少なくとも3ヶ月の追跡を行っていること。アウトカム指標は補綴物の失敗、インプラント体埋入の失敗、外科手術後の感染、有害事象(胃腸や過敏症など)とした。

データ収集と分析: 選択基準に合致する研究をスクリーニングし、試験方法の質評価とデータ抽出を2人のレビューアが個別に2回行った。結果は相対リスクを用いたランダム効果モデル、及び95%信頼区間と二分変数アウトカムを用いて表現した。データの非均質性は臨床的要因と方法論的要因の両方で検討された。

主な結果: 2つのRCTが検索された。1つは2gアモキシシリンの術前投与とプラセボを比較したもの(対象患者316名)、もう1つは2gアモキシシリンの術前投与に加えて、術後に2日間、1日4回、500mgずつ服用する方法と、抗菌薬を投与しない方法を比較したもの(対象患者80名)であった。2つの試験のメタアナリシスによれば、抗菌薬投与を受けなかった群においては、インプラント体埋入後の失敗が有意に多かった: 相対リスク=0.22(95%信頼区間0.06-0.86)。抗菌薬投与を受けなかった群におけるインプラント体埋入の失敗率が6%であったことから、1人の患者が1本のインプラント体埋入の失敗を予防するための治療必要数(NTT)は25(95%信頼区間13-100)であった。他のアウトカムについては、統計的有意差はみられなかった。また、2つの重大ではない有害事象が記録され、その1つはプラセボ群で起こっていた。

レビューアの結論: 通常のインプラント体埋入における失敗を著明に減らすためには、手術の1時間前に2gアモキシシリンを経口投与することを推奨するいくつかのエビデンスが得られた。術後投与が有効かどうか、また最も有効な抗菌薬は何かについては、不明であった。口腔インプラント埋入前の一定量の予防的抗菌薬使用は推奨されるだろう。

ご注意:この日本語訳は、臨床医、疫学研究者などによる翻訳のチェックを受けて公開していますが、訳語の間違いなどお気づきの点がございましたら、Minds事務局までご連絡ください。なお、コクラン・ライブラリは年4回改定版が発行されます。Mindsでは最新版の日本語訳を掲載するよう努めておりますが、編集作業に伴うタイム・ラグが生じている場合もあります。ご利用に際しては、最新版(英語版)の内容をご確認ください。